

第3・4学年 国語科学習指導案

児童数	3学年		女子	2名	計	2名	
	4学年	男子	1名	女子	1名	計	2名
場 所	3・4年教室						
指導者	坂本 美矢子						

第3学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 動物と人間のかかわりを調べよう
- 2 教材名 「動物とくらす」(説明文)
「パンフレットを作ろう」
- 3 単元について

(1) 単元観

第3学年及び第4学年の「読むこと」に関する指導目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係をとらえたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てること。」である。また「書くこと」に関する指導目標は「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てること。」である。特にここでは、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように」表現できる文章表現力を重視し、「相手意識や目的意識をより明確にもって書こうとする態度」を育てたい。

3年生は『ありの行列』でありの不思議さやおもしろさに気づき、他の昆虫にも探求心を広げ、新聞にまとめる学習をしてきた。

本単元では、教材文『動物とくらす』を読み、人間とともに暮らしている動物に関心をもった子どもたちが動物と人間の間わりについて興味を持ち、いろいろな方法で調べ、パンフレットにまとめる内容で展開していく。

(2) 児童について

3年生、二名の児童は『ありの行列』の学習で、文章を正しく読み取ったり、読み取ったことをペープサートなどで表現しながら確かめたりし、「読むこと」の力をつけてきた。また、関連図書などへも興味を示し、探求心を広げながら読書したり、調べたりしたことを新聞にまとめる活動にも意欲的に取り組んだ。しかしながら、「相手意識・目的意識」がやや薄く、各事柄の取舍選択がうまくできないところがある。自分の課題を意識した調べ方、メモの取り方に目を向けさせ、パンフレット作りに取り組ませていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたって、次のことを留意したい。

つかむ の段階では、ブックトークを行ない、教材文への意欲を高める。

深める の段階では、「動物の二つの力」について着目し、筆者がどちらの「力」に注目した述べ方をしているかを読み取らせたい。また「こそあど言葉」に着目した読みをし、深めていきたい。

広げる の段階では、ブックリストを提示したり、できるだけ短い文で必要な事柄だけをメモしていくようにさせたりしながら、独創性をいかせるパンフレットづくりをさせていきたい。

ふりかえる の段階では、「動物の二つの力」「こそあど言葉」に着目して、筆者の言いたかったことを読み取ることができたか、相手や目的を明確にしたパンフレット作りができたかという観点でふり返らせたい。

4 単元目標

動物と人間のかかわりに興味を持ち、事例に注意しながら文章を正しく読む。

動物と人間のかかわりについて本を読んで調べ、分かったことをパンフレットにまとめる。

読むこと

わかりやすくするために、例などが工夫されているところに注意して読む。(イオ)

「なるほど」と思ったことについて自分の体験と重ねて考えをまとめ、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。(エ)

<書くこと>

相手を決め、動物の役割がよく分かるように書く。(ア)

動物と人間のかかわりについて必要な事柄を収集したり選択したりする。(イ)

言語についての知識・理解・技能

分かりやすく表現するための語句「たとえば」の働きを知る。

国語への関心・意欲・態度

動物と人間のかかわりに興味を持ち、文章を読んだり、調べパンフレットにまとめようとしている。

第3学年

5 指導計画と評価規準(15時間)

過程	時間	学習活動	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能	関心・意欲・態度
つかむ	1	・ブックトークにより、動物に関する興味・関心をもつ。 ・新出漢字			・新出漢字を正しく、読んだり、書いたりしている。	・ブックトークにより、動物に関する興味・関心をもつことができている。
	2	・パンフレット作りに意欲を持ち、学習計画を立てる。				・「パンフレット」のよさや特徴に気づき、学習の見直しをもつことができている。
深める	3	・全文を通読し、人間に恩恵をもたらす動物の力についてまとめる。	[二つの力]に着目し、筆者がどちらの「力」に注目した述べ方をしているかを読み取っている。			
	4	・「こそあど言葉」に着目した読みから、大切なところを落とさず読む。	「こそあど言葉」の指し示す内容を正しく理解できている。		・「こそあど言葉」「たとえば」の使い方やそのよさを理解している。	
	5	・「たとえば」という言葉を使ってそんな例をあげているのかを読み取る。	「たとえば」に着目してそれぞれの例示を正しく読み取っている。			
	6 本時	・筆者の言いたかったことに迫り、学習をまとめる。	筆者の言いたかったことをとらえている。		・自分のパンフレットの中から大事な文や言葉を見つけ、まとめている。	
広げる	7	・「動物と人間のくらしパンフレット」作りに意欲を持ち、全体の見直しをもつ。				・パンフレット作りの具体的な計画をたてることができている。
	8	・目的に合った図書資料の探し方やメモの取り方について知る。		目的に合った図書資料の探し方やメモの取り方についてわかっている。		
	9 ～ 11	・目的に合った図書資料や関連のある事柄(人)を見つけ、情報を集める。 ・集めた情報から必要な事柄をメモする。		目的に合った図書資料や関連のある事柄(人)を見つけ、情報を集め、メモすることができている。		
	12 ～ 14	・メモを活用しながらパンフレットの原稿を作る。 ・パンフレットの書きや目次などを作り、仕上げる。		自分のメモをもとに相手意識をもってまとめ方の工夫ができている。		・意欲をもってパンフレット作りができている。
ふりかえる	15	・作品発表会をする。 ・ふりかえり		お互いのよさや工夫が必要など意見交換をすることができている。		・自分の立てた目標や計画がどうだったかをふりかえることができている。

6 本時の指導(6/15)

- (1) 目標
これまで読み取り、まとめてきたパンフレットをふり返り、筆者の言いたかったことをまとめることができる。

(2) 具体の評価規準

具体の評価基準	Aの状況の具体的姿	Cの状況への手だて
筆者の言いたかったことが書かれてある文や言葉がわかり、まとめることができている。	筆者の考えをよくとらえた上で、自分なりの文章でまとめることができ、それに対する自分の考えをもつことができている。	これまでに読み取ってきたものをふり返らせ、大事な言葉や文を確かめさせる。

< 第3学年 >

(3) 展開

評価()及び指導上の留意点()	学習活動	段階	形態
<p>互いに音読をすることによって他学年の学習文がわかるようにする。</p> <p>本時の学習内容を確認する。</p>	<p>1 今日学習するところを音読発表をする。</p> <p>2 課題と学習のめあてを把握し見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者の考えをまとめ、パンフレットを完成させよう。</p> </div>	<p>つかむ</p> <p>5分</p>	
<p>大事な文や言葉に、書き込みやシール添付をさせながら、確かめさせる。 大事だと思う理由を述べながら、話し合いを進めさせる。</p> <p>確かめた言葉や文を使って、筆者の考えをまとめられるようにする。 筆者の考えをまとめることができたか。</p>	<p>3 これまで書きためてきたパンフレットから、筆者の考えがわかる大事な文や言葉を見つけ、話し合う。</p> <p>4 筆者の考えをまとめる。</p>	<p>深める</p> <p>15分</p>	
<p>筆者の考えに対する自分の考えが書けるように学習プリントにキーワードなどの考えのためのヒントを入れる。</p> <p>筆者の考えに対する自分の考えを書くことができたか。</p> <p>学習プリントを見て、簡単に書き込めるようにする。</p> <p>パンフレットには、簡単に書き込める工夫をし、時間をかけずに書き方が分かるようにする。</p>	<p>5 学習プリントに自分の考えを書く。</p> <p>6 パンフレットに筆者の考えと自分の考えを書き入れる。</p> <p>7 表紙や前書き、目次を書いて完成させる。</p>	<p>深める</p> <p>15分</p>	
<p>複式学級のよさを生かして、下学年の学習の確かめをする。</p> <p>発表の仕方を黒板に提示する。 ・筆者の考えと自分の考え ・表紙や前書き、目次で見てほしいところ</p> <p>次の学年の学習に期待感を持たせるように視点を話しながら、発表を聞かせる。</p> <p>筆者や自分の考えをまとめることに積極的に取り組めたか、心情面の評価もさせる。 (学習プリントと発表) 今後の見通しと意欲を持たせる。</p>	<p>8 3年生のパンフレットを発表する。</p> <p>9 4年生の感想を聞く。</p> <p>10 4年生の学習成果と感想を聞く。</p> <p>11 自己評価をする。</p> <p>12 次時の確認をする。</p>	<p>まとめる</p> <p>10分</p>	

第4学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 わたしたちの体について調べよう
- 2 教材名 「体を守る仕組み」(説明文)
「これが、『わたし』です」

3 単元について

(1) 単元観

第3学年及び第4学年の「読むこと」に関する指導目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係をとらえたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広(読書しようとする態度を育てること。」である。また「書くこと」に関する指導目標は「相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てること。」である。4年生は3年生で「ありの行列」で「段落」について知り、4年上巻の「ツバメがすむ町」において段落と段落のつながりについて学んできている。また調べる力、書く力については、これまでに図書室における本の探し方や内容に見当をつけるための方法等を学習している。さらに3年の「パンフレットを作ろう」では、本や人に聞いて調べた時のメモの取り方も学んでいる。

本単元では「読む力」として、つながり方を考える接続語に焦点を当て読み取り、それをもとに高学年の「筆者の考え方を推測し、自分の考えをもつこと」の学習につなげていきたい。また、「書く力」として、本文を読んで分かったことや調べて分かったことを整理して自分自身を記録していく活動を通して、事典などの参考資料を引く力や必要な部分を見つける力、簡潔にまとめる力を育てたい。特に、引用文の扱いや情報の処理の仕方(目的に応じた書き直し)を中心に学習していく。

(2) 児童について

4年生二名の児童は、互いに得意分野を持っており、それぞれ刺激しあいながら学習を進めている。1学期には、「ツバメがすむ町」の学習で、文末表現や言葉に着目しながら内容を整理して読む力をつけてきた。また、読み取ったことをパンフレットに表現し、大事なことを落とさずに書くということも学んできた。そのことを踏み台に、教材文を楽しく読み進めていき、この文章の魅力に迫っていき、また自分自身のことを調べ、それを表現する活動を通して、相手を意識した文章の書き方を身につけさせたい。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたって、次のことを留意したい。

つかむ の段階では、身近な経験を思い起こすことによって、「自分の体」の仕組みについて興味をもたせ、読みの課題、単元全体の学習の流れをスムーズにつかませたい。

深める の段階では、読んでわかったことを自分なりにまとめるワークシートを盛り込んだ学習プリントを使い、読みを確かなものにしていきたい。(ワークシート絵本の作成)

広げる の段階では、「体を守る仕組み」で学んだ表現上の工夫を生かして、より分かりやすい文章にまとめさせたい。

ふりかえる の段階では、自分の体に興味を持って教材文を読んだり、調べたことをまとめたりすることができたかという観点でふりかえらせたい。

4 単元目標

自分たちの体には興味をもち、段落相互の関係をを考えながら文章を正しく読む。

体について、疑問に思うことを本を読んで調べる。

調べたり考えたりしたことをまとめて、今の自分を記録する。

読むこと

書かれている内容を正確に読み取るために、各段落の要点や段落相互の関係をつかむ。(イ)

筆者の思いに自分の体験を重ね合わせて読み、一人一人の感じ方の違いを知る。(エ)

書くこと

体について学習したことや調べたことを図やカードにまとめて、今の自分を記録する。(ア)

体を守る仕組みについて、事典などで調べて材料を集め、選択する。(イ)

言語についての知識・理解・技能

段落相互の関係を示す、接続語について理解し、使う。(オ(イ)(ウ))

国語への関心・意欲・態度

自分の体に興味を持ち、文章を読んだり、調べたことを表現したりする。

第4学年

5 指導計画と評価規準(14時間)

過程	時間	学習活動	読むこと	書くこと	言語についての知識・理解・技能	国語への関心・意欲・態度
つかむ	1	・学習の課題をもち、単元全体の学習計画を立てる。				・学習全体の流れが分かり、意欲をもって課題をもつことができている。
深める	2	・全文を通読し、3つのまとまりに分ける。・新出漢字や難語句	本文に即して、根拠をもって3つのまとまりにわけることができている。		・新出漢字や難語句を調べ、理解している。	
	3 ～ 5	・教材文の内容をくわしく読み取り、課題を解決する。	内容を正確にとらえている。自分の体験と比べながら読むことができている。		・接続語の使い方がわかっている。	
	6 本時	・筆者の願いを読み取り、自分の考えをもつ。 ・学習のまとめ(ワークシート絵本の製本)	筆者の思いをまとめ、自分の考えをもつことができている。			・これまで学習してきたことを整理し、次の学習に意欲を持っている。
広める	7	・体の不思議について調べる方法を話し合い、学習計画をたてる。				・自分の課題を持つことができている。課題について調べていく見通しをもっている。
	8、 9	・調べたいことに関する資料を集め、必要な情報をメモする。		自分の必要とする材料を集めることができている。また、集めた資料の中から自分の必要なことをメモしている。		・自分の調べたいことに対して意欲を持って追求しようとしている。
	10 ～ 12	・メモカードをもとに「これが、わたしです」としてまとめる。		自分が調べたことをまとめる方法を見つけている。調べた中から、必要な情報を選択している。	分らない言葉や表現を調べ、分かりやすく書き直している。	
	13	文章を見直し、必要な絵図や表などを整えて作品を仕上げる。		自分の調べたことをもとに相手意識をもったまとめ方の工夫をしている。		・意欲をもってまとめている。
ふりかえる	14	作品発表会をする。 学習のふりかえり				・自分の作品の感想を聞いて、自分の学習を振り返っている。

7 本時の指導(6/14)

- (1) 目標
筆者の考えや思いをとらえるとともに、それに対する自分の考えをもつことができる。

(2) 具体的評価規準

具体的評価基準	Aの状況の具体的姿	Cの状況への手だて
筆者の思いに対して、自分の考えをもつことができている。	筆者のいちばん言いたかったことについて、自分の言葉でまとめ、さらにそれに対する自分の考えも文章にまとめることができている。	筆者の思いが書かれている部分にサイドラインを引かせ、それについて自分はどう思うか考えさせたい。また、話し合いの中で気づかせたい。

第4学年

(3)展開

形態	段階	学習活動	評価()及び指導上の留意点()
	つかむ 5分	1 今日学習するところを音読発表をする。 2 課題と学習のめあてを把握し見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 筆者の考えをまとめ、ワークシート絵本を完成させよう。 </div>	互いに音読することによって、他学年の学習文がわかるようにする。 本時の学習内容を確認する。
	深める 15分	3 筆者のいちばん言いたかったことは何かを考える。 4 二人で確認する。 5 自分の考えをまとめる。 6 学習プリントに沿って、学習のまとめをする。	計画的に学習が進められるように学習プリントに指示を入れる。 二人で解決できなかったときのためのヒントカードを用意する。
	深める 15分	7 筆者の考えを確認する。 8 自分の考えを発表し合う。 9 学習のまとめをする。 10 ワークシート絵本を製本する。	筆者の考えや伝えたかったことを読み取ることができたか。(発言・学習プリント) 相手の考えと自分の考えとを比べながら聞き合えるようにする。 自分の考えを持つことができたか。(発言・学習プリント) これまで学習してきたことを整理し、次の学習への意欲を持つことができるようにする。
	まとめる 10分	11 3年生の発表を聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 発表を聞く視点 パンフレットの書き方に工夫は見られるか。 筆者の考えに対する自分の考えが書かれているか。 </div> 12 3年生の発表に対する感想を発表する。 13 4年生のワークシート絵本を紹介する。 14 自己評価をする。 15 次時の確認	複式学級のよさを生かして、それぞれの学習の成果を伝え合う。 3年生の発表に対して聞く視点を与え4年生が発表しやすいようにする。 聞く視点にあった発表ができたか。 今後の学習へつなげる評価としたい。